

別冊 妙見菩薩 平将門関連

<http://www.ensenji.or.jp/myouken.html>

妙見シリーズ7



平成24年5月までの調べ

〒 357-0014
埼玉県飯能市平松 376 番地
Tel 042-973-5716
真言宗智山派
円泉寺住職 諸井政昭
<http://www.ensenji.or.jp/>

平将門

下総北部を地盤としていた平将門は常陸西部に館をもつ伯父の平国香、良兼、良正らと合戦を繰り返し、承平五年（九三五）常陸（茨城県）の国蚕飼川（小貝川）に戦ったおり妙見菩薩が将門と平良文の危機を救い、「自は上野の国、花園と云う寺に在り・汝若し志あらば速やかに我を迎え取るべし。」と述べたと記されています。現在の群馬町妙見寺のことです。

「将門記」によると、将門は天慶二年（九三九）平貞盛（清盛、織田信長の先祖）に挑発され、常陸国衙を焼き払い、国家に対する反乱の第一歩となりました。こののち下野、上野、相模など諸国の国衙をも制圧して、弟やおもだった従者を関東諸国の国守に任じ、みずから〈新皇〉と称しました。当時の朝廷は、藤原氏が政権を独占し、群盗がはびこる荒れた時代でした。この反乱は、律令体制からの関東の自立をはかったといわれ、武力による独立国家を主張したとも伝えられています。しかし天慶三年二月十四日、平貞盛、藤原秀郷（西行、奥州藤原氏の先祖）らの軍勢により、現在の茨城県坂東市（元岩井市）で、39歳（諸説在り）にて亡くなりました。

戦いに敗れた将門の一族残党は各地に隠れ住むようになり、たくさんの伝説は、飯能市近在では秩父、青梅市・奥多摩町・八王子市から山梨の大月市に至っています。中央の歴史では、将門公は大悪人とされてきましたが、当時の関東の民衆は、拍手喝采だったのでしょう。後々関東以北に将門公を悼み多くの神社などが建てられました。

この流れが、鎌倉幕府の成立につながっていきます。幕府設立に尽力した坂東の勢力は、かつて将門に敵対した勢力も多いのですが、源頼朝をはじめ、将門反乱時に活躍した人々の子孫が数多くいます。

鎌倉幕府設立は将門の意志を受け継ぐ敵討ちだったという人もいます。それは源氏対平家の戦いではなく、実際は平家（平将門勢）対平家（平貞盛、藤原秀郷勢）の戦いだということです。頼朝配下に入った実力者の名前を見ればそのように思えます。源義経は、このことも理解していなかったための悲劇だったということでしょう。

将門公を支援した勢力に筑波山の修験がいたという説があります。一族と共に逃れ住み、後世に山伏が多くの伝説を伝えたのだそうです。また、将門伝説（村上春樹著）によると、江戸時代の将門公に関連する演劇も伝説に大きな影響を与えているようです。

江戸時代には将門を祀る「神田明神（神田神社）」は武州の総社、江戸の総鎮守となりました。神田祭は京の祇園祭、大阪の天神祭とともに日本三大祭とされています。

※別冊 妙見菩薩 平将門関連

この妙見菩薩の資料は、一部他のシリーズに移行しました。
日本石仏協会談話室資料(妙見菩薩の基本資料)の一部を追加しました。

智=真言宗智山派 豊=真言宗豊山派 高=高野山派 天=天台宗 日=日蓮宗 曹=曹洞宗 臨=臨濟宗 など

平将門を祀る寺社

神田明神(神田神社)

101-0021

東京都千代田区外神田2丁目16-2



神田明神を崇敬する人は成田山新勝寺を参拝してはいけないといわれている。ほかにも同様な言い伝えを護っている地域は多い。

資料館の将門公尊像は、平田篤胤が尊崇していた。平田神社より遷座。篤胤の先祖は、平将門という。

将門首塚

東京都千代田大手町1-1-1



神田明神の舊地
将門公の首が埋められているところ
と伝えられている。

※別 皇居



首塚からは大手門はすぐ近く。誰でも見学できます。

江戸城拡張のため、神田明神・日輪寺など多くの社寺が移された。

中はさすがに広く、本丸跡まで歩くとかなり疲れる。多くの人が見学に来ていた。外国人の比率が多いようだ。

普段の休館日は毎週月曜日と金曜日。

神田山日輪寺時宗 111-0035

東京都台東区西浅草3丁目15-6



真教上人が、首塚を修復した。
首塚近くにあったが、江戸城の拡張のため現在地に移る。

兜神社 (祠)

東京都中央区日本橋兜町



田原藤太が将門の兜を埋めたところ。
いろいろな説がある。

築土神社

東京都千代田区九段北 1-13



将門の首を京都から持ち帰った時の納めた桶が
あったところ。写真が残っている。

よろい (鎧) 神社 169-0074

東京都新宿区北新宿 3丁目 16-18
藤原秀郷が将門公の鎧を納めた。



※円照寺 豊山

東京都新宿区北新宿 3丁目 2-2
鎧神社の元別当寺。



※写真家 篠山紀信氏の実家

筑土八幡神社 162-0815



東京都新宿区筑土八幡町 2-1

かつて築土神社(千代田区九段北 1-13)が隣にあった。

正式には祀られていないが、非公式に祀られている？。

※平将門が津久戸明神として合祀されている。
「平将門魔方陣」加門七海著
面白い本です。

氷川神社・太刀佩観音



東京都板橋区東新町 2-16-1

上平川村観音堂の本尊仏(将門の像とも)を蔵し、将門親筆の写経紙片を伝うという。(『平将門故蹟考』)

豊かな自然を残している。

金剛寺 198-0087



東京都青梅市天ヶ瀬町 1 0 3 2

豊山

将門の子孫・三田氏の創建。将門の位牌を祀る。

将門手植えとされる「将門誓いの梅」と称する梅の古木がある。

海禅寺 198-0171



東京都青梅市二俣尾 4 丁目 9 6 2 将門の位牌を祀る。



紋は七曜星

将門の子孫・三田氏の墓

天寧寺 198-0004



東京都青梅市根ヶ布 1 丁目 4 5 4

曹

将門の位牌を祀る。武蔵野風土記に記載なし？

鷹巢神社(将門明神)
将門神社

東京都西多摩郡奥多摩町川井 不明
東京都西多摩郡奥多摩町鳩の巣 (棚沢)



旧多名澤神社

※将門山 (三面不動尊)

棚沢・将門神社近く



根元神社内将門神社

東京都西多摩郡奥多摩町氷川 1804 峰畑より遷宮



将門神社

将門神社

東京都西多摩郡奥多摩町氷川字三ノ木戸
三ノ木戸の道路の行き止まりから小道を左に折れ、すぐ。
四社が祀られている。どれかは不明。



絹笠神社

東京都西多摩郡奥多摩町氷川字絹笠 廃屋が並ぶ

将門神社

東京都西多摩郡奥多摩町氷川
氷川には三、四社あるようだ。



奥多摩町氷川の山中
より奥多摩町中心地
を望む。

※七つ石神社

東京都西多摩郡奥多摩町日原 山梨県との境 将門を祀る
旧は、七つの石（将門の家臣の化身）がご神体

将門明神社

東京都八王子市上恩方

国王神社

306-0631

茨城県板東市岩井948 将門の娘、如蔵尼が33回忌に将門像を納めた。
将門祭



11月第2日曜 11:00-16:00
(雨天中止)

坂東市（旧岩井市）国王神社～
元岩井市街

<http://www.kokuou.or.jp/>

※別 石井の井戸(岩井発祥の地)

茨城県板東市(元岩井市)岩井1627 一言神社境外地



のどの渇いた将門の前に老翁が現れて、水を湧き出させたとい
う伝説がある。

※別 一言神社

茨城県板東市(元岩井市)岩井1584

石井の井戸に現れた老翁を祀るという。



※ 島広山・岩井営所跡

茨城県板東市(元岩井市)岩井1603-2



坂東市立岩井図書館 (総合文化ホール ベルフォーレ) 平将門公の騎馬像とレリーフ
茨城県板東市岩井5082



※ 深井地蔵堂

茨城県板東市(元岩井市)杓掛 2205 将門の妻子を供養する。

延命院 平将門の洞塚

茨城県板東市(元岩井市)神田山 7 1 5

智



平将門の洞塚

海禅寺

茨城県守谷市高野 1337



平将門により創建。本尊地蔵菩薩は、娘の如蔵尼の念持仏。
平将門(右端)と七人の影武者の供養塔もある。

※別 西林寺・七騎塚
高野八幡宮
五所神社(御所神社)

茨城県守谷市本町 726

茨城県古河市(元総和町)高野 1473 首を祀る

茨城県結城郡八千代町仁江戸



延命寺

茨城県取手市(元藤代町)岡 987

豊

覺鑿上人が将門の菩提を弔うため創建と伝えられる。

仏島山古墳

茨城県取手市岡

石の祠に「将門神社」と刻まれている。

御門(三門)御墓

茨城県桜川市(元大和村)大国玉字三門

平将門の墓と伝えられ供養を絶やさず守り続けている。墓は将門婦人を祀る后神社と向かい合うように建っている。

般若寺

300-0805

茨城県土浦市宍塚 1 4 6 1

将門の霊を弔うために、孫娘の安寿姫が創建した。

城峰神社

埼玉県秩父市(元吉田町)石間^{いさま}

城峰山頂付近



平将門の伝承が残る。

※別 秩父氏館跡

吉田東幼稚園

埼玉県秩父市下吉田

吉田小学校



最初に秩父氏が館を構えた地。後に中村町へ移った。吉田小の前に立つのは本郷昇平氏(平将門の子孫)

左・幼稚園 右・小学校

※別 金剛院

埼玉県秩父市下吉田字赤芝

曹

秩父武綱が開基し。秩父氏の菩提寺となる。武綱の墓と位牌を祀る。



秩父武綱の墓

太陽寺



埼玉県秩父市大滝 459 円通寺(廃寺)にあった将門像 臨・建長寺派

※別 埼玉県山西省友好記念館〔神怡館〕^{しんいかん} 埼玉県秩父郡小鹿野町(元両神村)^{すずき} 薄



昭和56年に埼玉県と山西省が友好県省を結び、その記念として建てられた。平日二度行ったが、二度とも私だけの貸し切りだった。埼玉県民のほとんどがここを知らないだろう。展示品は模造もあるが、どれもすごい技術力だ。

休館日 火曜日 祝日の場合は開館
祝日の翌々日
土日・祝日の場合は開館

※別 埼玉県深谷市(元大里郡川本町)畠山 畠山重忠は桓武平家秩父氏
畠山重忠墓・館跡 畠山重忠菩提寺・満福寺 豊



※別 菅谷館(畠山氏)跡 埼玉県比企郡嵐山町菅谷字城



←畠山重忠像
土塁空濠

屋敷跡内に埼玉県立歴史資料館がある。



浄誓寺・首塚 340-0122



埼玉県幸手市神明内 1 4 6 9



平将門首塚

明神社



埼玉県さいたま市緑区井沼方 3 9 0

密蔵院・平将門供養塚(本堂裏手)

埼玉県川口市安行原 2008 平将門の城跡

智



将門の開基。守り本尊であった地蔵菩薩像が本尊。寺紋を九曜とする。

※別 高雲寺 (曹洞宗)

埼玉県熊谷市村岡



平良文の館跡に建つといわれる。
良文関係の遺跡はない。
※藤沢市村岡のなどの説有り

※元観音堂



埼玉県熊谷市村岡 高雲寺の近く。
村岡集会所の地に平良文を供養する観音堂があった。
観音像はここに祀られている。

※別 東葛西夕顔観音堂

安福寺 東京都葛飾区西水元 1-28-19

豊



将門の叔父平良文の墳墓が元ここにあったといわれている。
明治 26 年に東葛西夕顔観音堂から安福寺に移された。
観音像は、直径 16 cm の円形懸仏で鎌倉時代の作。

将門神社 (御門神社)

栃木県下都賀郡岩舟町静字御門



この地の針谷家は平将門の子孫。ご本家の針谷浅一氏のお位牌、お墓を拝見させていただいたが、院殿大居士であった。この地は将門方の大事な拠点だったが、佐野の藤原秀郷の勢力によって敗れた。以前は神社の東、北に濠が巡らされてあった。浅一氏のお話しによると佐野市の唐沢山には行っても良いが、唐澤山神社はお参りしてはいけないと子供の時に言われたという。

大原神社

栃木県足利市大前町



将門公の腹が落ちた場所との伝説がある。

大手神社

栃木県足利市五十部町



将門公の手が落ちた場所との伝説がある。

将門霊神古墳

栃木県下都賀郡大平町下皆川 81

将門の墓地という言い伝えがある。将門霊神の碑がある。

将門山大明神将門神社(口之宮神社)

千葉県佐倉市大佐倉 近くに将門館跡・桔梗塚

※別 歴史民俗博物館

千葉県佐倉市城内町 117

展示品がすばらしい。いろいろな資料が販売されています。

千葉県佐倉市の将門明神？

千葉県印旛郡酒々井町（千葉氏の本拠）に将門町あり

将門神社

277-0903 千葉県柏市(沼南町)岩井

※龍光院(豊山) 本尊は不動明王。地蔵堂は将門の三女・如蔵尼が将門の供養のために地蔵尊を祀ったといわれ、隣にある将門神社も彼女が祀ったのが始まりとされます。将門を裏切ったといわれる「桔梗御前」のいわれから、相馬郡では桔梗を植えない伝統があるようです。



将門神社



龍光院



地蔵堂

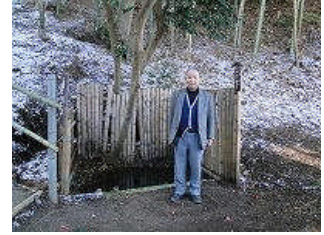
福満寺

千葉県柏市大井 1708 本堂に妙見菩薩も祀られている。

天



平将門祠



車御前鏡の井戸と 富士川氏
本堂の裏手にある。

御住職・井原慧純師は平将門、妙見菩薩、地域の歴史に詳しい。

妙見堂跡・車ノ前五輪塔

千葉県柏市大井 1228 福満寺の南側 200m の境外地

将門の妾・車ノ前を祀った。車ノ前五輪塔がある。



地元の人々は例年将門の
命日 2 月 21 日に妙見講を
行っている。

※別 持宝院

千葉県柏市藤ヶ谷 178-1

天



下総相馬氏の分流の菩提寺。
今も相馬姓の檀家さんが多いようだ。

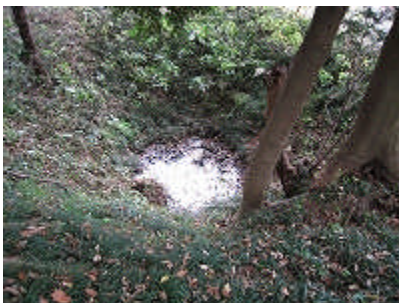
彼岸花で有名らしい。

将門神社

千葉県我孫子市日秀^{ひびり} 31



※将門の井戸 将門神社の東、約 200 ㍓



道路の端にある。細長い標識が立っているが、一度通り過ぎて
しまった。

※野馬除土手

千葉県松戸市六高台

将門の放牧場経営領に属していたと言われる。

※八幡の藪知らず(不知森神社)

千葉県市川市八幡



平将門の墳墓説など多くのいわれがある。

駒形大神社
平将門の祠

千葉県市川市大野町 4-2757 祭神：経津主命、平将門合祀

千葉県市川市大野 3丁目字城山 大野城跡

将門さま（弁天祠）第五中学校敷地の北端にある小さな石祠

国分寺

千葉県市原市惣社 1丁目 7-23

仁王門の所に将門の墓と伝えられる将門塔がある。

竹袋城跡の将門の井戸
正賢寺(かつての将門寺)

千葉県印西市竹袋字井ノ内 将門の出城と伝えられる。

289-0511

千葉県旭市鐮木 2 7 8 9

将門石像
鬼石神社

群馬県 群馬郡榛名町・榛東村・伊香保町の境 相馬山頂

群馬県藤岡市鬼石 7 2 2-1

社殿の鬼石の下に将門の首を埋めたとも伝えられている。



只上神社

群馬県太田市只上町 1706

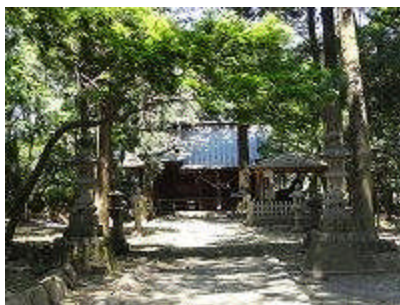
只上町は、平将門の侍女である桔梗の出身地とされる。
将門の胴体を分葬し、「胴体の宮」と称すると言い伝えがある。




生品神社

群馬県太田市新田町市野井町 640 国指定史跡

主祭神は大国主であるが平将門を祀っているという伝えもある。
元弘3年(1333)後醍醐天皇から北条氏追討の綸旨を受けるや、新田義貞はこの境内で旗挙げをしました。



照樂寺	秋田県仙北郡美郷町六郷字東高方町 7 4 平将門の流れを汲む寺。平将門の陣幕が寺宝としてあり、秋田県の重要文化財に指定されている。
相馬神社	福島県相馬市中村字北町 101 相馬家の始祖師常を祭神として明治 13 年（1880 年）に建立。 祭神・天之御中主大神(妙見菩薩)・平将門
相馬中村国王神社	福島県相馬市中村 相馬氏の始祖相馬師常を祭神とする相馬天王が合祀。
御鍋神社	福島県岩瀬郡天栄村大字湯本二俣 永井平九郎、桔梗、平将門の三人を祭る。この地は桔梗と将門の一族郎党が追っ手を逃れ、密かに隠れ住んだと伝えられる。 永井平九郎は将門と桔梗の子と言われる。
相馬神社 ※真蔵院	山梨県大月市七保町上和田 五輪塚 山梨県大月市賑岡町岩殿 七社権現立像(伊豆、箱根、日光、白山、熊野、蔵王、山王) 平将門とその配下の武将をモデルに室町時代に製作された。
千躰地蔵のうちの大定智悲地蔵	山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 平将門の慰霊のために建てられた地蔵。戦いに敗れ甲州街道に逃れた将門と一党がこの地まで落ち延び追撃の源氏の軍によって斬殺され最期を遂げたところ。
東光寺・十九首塚（じゅうくしょつか）	静岡県掛川市下俣 2 2 8 将門と 18 人の家来の首塚
大須観音真福寺宝生院	愛知県名古屋市中区大須 2-21-47 智山派別格本山 日本三経蔵としてしられ、重文・真福寺本「将門記」(まさかどき・しょうもんき)、国宝・「古事記」などの貴重などの典籍・古文書を多く収蔵している。 将門記は軍記物の先駆と言われる。
	
社宮司社・首塚 御首神社(みくびじんじゃ) 稲里神社	愛知県名古屋市中区熱田区 岐阜県大垣市荒尾町 1283-1 荒尾駅の西 200 ㍓ 滋賀県彦根市稲里町 神社の山頂に平将門の首が埋めたと云う伝説がある。
神田神宮(祠) 神田明神 八幡御霊神社・神田神社 神田神社 神田神社	京都府下京区四条新町西入ル下ル 京都市下京区新釜座 将門首塚の地 奈良県五條市岡 広島県安芸高田市吉田町多治比 香川県観音寺市豊浜町箕浦 香川県神社誌に「箕浦村、神田大明神あり。平将門祭る」
大堂神社 若宮神社	佐賀県佐賀市諸富町大堂 佐賀県神埼郡千代田町境原字原の町 852-1 六所神社に祀られていたが明治 4 3 年に合祀される。
背振神社	佐賀県神埼郡背振村白木（白木は見つからず） 脊振神社 脊振村服巻田中 1 4 5 5 - 1 か？。 仁空神社に祀られていたが背振神社下社に合祀。

^{みくりや}
相馬御厨 (Wikipedia)

相馬御厨は現在の茨城県取手市、守谷市、千葉県柏市、流山市、我孫子市のあたりにあった中世の寄進型荘園の一つ。「御厨」は皇室や伊勢神宮、下鴨神社の領地を意味する。相馬御厨は伊勢神宮の荘園。

※千葉県柏市塚崎 1460 に神明社がり、近在に「渡来」姓の旧家が数多くある。柏紋を用いるなど伊勢社との深い関わりを見ることができる。

かつて将門を祭った？

鳥越神社

111-0054 東京都台東区鳥越 2 丁目 4 - 1



宮司が千葉系鏑木氏なので祀っていると勘違いされた。鏑木啓磨宮司が明らかにしている。

稻荷鬼王神社

160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 2 丁目 1 7 - 5



鬼王は将門の幼名。神社には縁起にない。

円通寺 (廃寺)

埼玉県秩父市 (元大滝村) 編武蔵野風土記稿
かつて将門の像を祀っていた。現在は太陽寺にある。

将門の祈願寺・神社など

円福寺

埼玉県秩父郡皆野町皆野字内手 271

智山派

平将門の開基、重忠の父重能を中興開基とする。



平将門の開基

平将平（将門の弟）の墓

平（畠山）重能の墓

密蔵院

334-0057 埼玉県川口市安行原 2 0 0 8

智



将門の城があったところ。
将門の念持仏の延命地蔵が
本尊。

長禅寺

302-0004 茨城県取手市取手 2 丁目 9 - 1

臨



竜禅寺

302-0033 茨城県取手市米ノ井 4 6 7

天



将門の生まれた所と
伝えられている。

三仏堂(重文)
将門が修復。

親王山延命寺

茨城県取手市岡 9 8 7

豊

覺鑱上人が平将門菩提のため建立。七人武者塚といわれている七基の石塔がある。

岡神社（大日山古墳の墳頂）

茨城県取手市岡

永蔵寺薬師堂本尊薬師如来
平将門土偶の墓

茨城県取手市戸頭 将門の守り本尊
茨城県取手市市之代
稲豊橋を渡る手前の交差点間近

延命寺※島薬師

茨城県坂東市岩井

豊山



将門が建立。
元国王神社の別当寺。

一言主神社

茨城県坂東市岩井



だいほう
大宝八幡宮

304-0022

茨城県下妻市大宝667

平将門公も戦勝祈願の為たびたび参拝。かつて将門の愛刀が納められていた。



だいほう
大宝城跡(下妻氏)の面影を留める。土塁跡と思われる。
南北朝時代

永泉寺
長龍寺
西林寺

茨城県守谷市松並1800 平将門の創建
茨城県守谷市百合ヶ丘2丁目2555 平将門の創建
茨城県守谷市本町726 平将門の創建

曹
天

かつて境内に妙見八幡神社があった。七騎塚があり、将門の影武者七騎の墓と伝えられる。

※守谷城址

茨城県守谷市守谷 守谷小学校

守谷小学校の南に説明板。小学校敷地内の石垣の上に「平将門城跡」の石碑がある。

山川不動尊(不動院大栄寺)

茨城県結城市山川新宿 311-1

弘法大師作の不動明王。将門が京から持ち帰ったと伝えられる。

日枝神社

茨城県常総市(元水海道市)菅生町 4892 元妙見社
平将門が妙見菩薩の像を納めた。

※別 おおのごう
大生郷天満宮

茨城県常総市大生郷町 1234



菅原道真の第三子・景行が創建。
道真の遺骨を奉持し諸国遍歴の後、ここに墓をつくった。
将門の弟・将平が通って修学した。

月讀神社

茨城県つくば市樋の沢 208

平将門の護持仏であった勢至菩薩を本尊として祀っていた。

鹿島神社

茨城県つくば市若栗 355

天慶八年平将門祈願の折、社領三百石を寄進。

布施弁天東海寺

千葉県柏市布施 1738 関東三弁天の一つ。



平将門が必勝祈願のお参りをした。
地元では布施の弁財天は将門を守護したと信じている

白山神社

千葉県野田市(元関宿町)木間ヶ瀬 5888 平将門の御手植の七本桜



すばらしい神像です。
御岳神社？

柴崎神社

千葉県我孫子市柴崎字山王谷 737

将門が建立



天之宮神社

千葉県香取郡東庄町根方字竜ヶ谷

帝王山妙善寺

千葉県東金市御門

将門生誕伝説。寺の由来記にある桔梗の前は将門の母となっている。

久留里神社(細田妙見)

千葉県君津市浦田 14-1 両総六妙見(千葉六妙見)の神社
六妙見は、平将門の勧請という伝承もある。

天満天神宮

千葉県市川市大野 五中の北側



平将門が天慶元年(938)に京都の天満宮をこの地に勧請した。

日秀観音寺

千葉県千葉県我孫子市日秀 9 0

曹

平将門の守本尊である行基菩薩作の観音像。寺紋は九曜。



この地域は平将門に対する敬愛厚く、「成田山は参詣しない」「桔梗の花は植えない」「桔梗の柄の書かれた物は使用しない」「胡瓜を輪切りにしない」などがある。

境内に建てられたお地蔵様は成田山にそっぽを向いています。

※すみません曲がってました。

海禅寺

東京都台東区松が谷 3-3-3)



平将門が下総国相馬郡に創建した寺であるが、将門滅亡後、荒廃していたのをこの地に遷した。関東大震災で被害に遭う前には、写楽の墓があったと伝えられる。

日輪寺の 200 メートル西

阿蘇神社

205-0016 東京都羽村市羽加美 4 丁目 6 - 2 3



将門が社殿を造営

三田掃部助定重(将門の子孫) 社殿修造寄進

慧日寺

福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字本寺上 4 9 5 0

豊

平将門が山門を寄進したと伝えられ、三女の滝夜叉姫がこの地に逃れ、庵をむすんだ伝説がある。

羽黒山五重塔

山形県鶴岡市羽黒町手向羽黒山 3 3

平将門の建立と伝えられる。現在の塔は、約 600 年前に再建された。

将門伝説に関するところ

法輪寺

茨城県常総市向石下

天



各地に誕生の地として伝承があるが、ここもその一つ。公園として整備されていると言うが、お寺自体は、かなり荒れていた。「平将門公本拠豊田館跡」の碑がある。

西福寺

茨城県常総市新石下

浄土



平将門公菩提供養の碑
元は新石下の妙見寺にあったが、明治4年に廃寺になり、西福寺に移した。看板がなければ供養碑であることは、判らない。

惣代八幡社
戸頭神社
守矢城跡

茨城県取手市寺田 将門誕生伝説
茨城県取手市戸頭1丁目 将門誕生伝説
茨城県守谷市本町

平将門鎌輪之宿

茨城県下妻市（元千代川村鎌庭）

平将門鎌輪の宿は、鎌庭の香取神社の境内辺りにあったという。千代川宇舎敷地内にも碑がある。



左 香取神社
右 田んぼの中の「平将門鎌輪之宿居館跡」の看板

鎌庭の館跡推定地は、かつての「鬼怒川」の流れから考えると、かなり低いところにあるようだ。鬼怒川は何度も川筋を変えている。あの時代に、こんな低いところに館があったとは考えられないとする意見もある。同じ鎌庭や八千代町がある現在の鬼怒川の西側は、土手よりも高く、たくさんの古墳や住居跡がある。

御所(五所)神社

茨城県結城郡八千代町仁江戸 1428 将門を祀る。誕生伝説。



堀越の渡し合戦の戦場

鬼怒川の八千代町仁江戸と下妻市二本紀の間



仁江戸の渡津あたりを望む。

※尾崎前山遺跡製鉄炉跡

茨城県結城郡八千代町尾崎字前山 4 0 4 - 4



将門の時代以前であるが、製鉄炉は9世紀ごろに創業されたらしい。近くには、秋葉山古墳もある。

県道結城・岩井線から少し入った所あり、分かりにくい場所。近くには案内表示がある。

栗栖院常羽（くるすえんいくは）の御厩（みやま）跡 茨城県結城郡八千代町栗山
平将門の家臣、多治経明（たじつねあきら）が管理していた馬牧



栗栖院常羽の御厩跡の碑と
仏性寺(天台)

川曲村合戦地

茨城県結城郡八千代町野爪 野爪鹿島神社



※弘徳寺

300-3541 茨城県結城郡八千代町新地 5 4 7

真宗



千葉常胤の子、相馬二郎師常の子、相馬三郎義清が親鸞聖人の弟子となり、創建した。住職は現在も相馬姓。

※薬王寺

300-3539 茨城県結城郡八千代町仁江戸 1 2 9 8

天



現住職の祖母は、弘徳寺より嫁いで来た。
この辺りでは、桔梗は植えてはいけない、佐野厄除大師や佐野神社にはお参りに行かないという。

山川不動大栄寺
常陸国府跡

茨城県結城市山川新宿 311-1 弘法大師作の将門公守り本尊
茨城県石岡市総社 1 丁目 2-1 0 石岡小学校の中

豊

平将門の乱により常陸国府は焼かれ、国分寺も被害にあったという。

常陸国分寺跡
※常陸国分尼寺跡

茨城県石岡市府中 5-1
茨城県石岡市若松三丁目 1 番

総社神社

群馬県前橋市元総社町 1-31-45



平将門はここで上野総社の巫女の神託を受け、新皇と称する。

上野国分寺跡

群馬県高崎市引間町 妙見寺から約 200 ㍓



9 3 9 年 平将門が国分寺を襲い、この時焼かれ荒廃したらしい。

はすげさん
八菅山八菅神社

神奈川県愛甲郡愛川町八菅山 1 4 1



社紋は九曜

現宮司は千葉姓、他に修験の元安養院は相馬姓で将門を祀っていた。紋は九曜
妙見様との関連も伝えられている。八菅修験の本拠地

受付のおばちゃんは、千葉さん(宮城県出身、たまたま同姓だった)。

九十九神社

秩父市大滝(大血川)



この地で自殺した平将門の99人の妃を祀る。

熊野神社

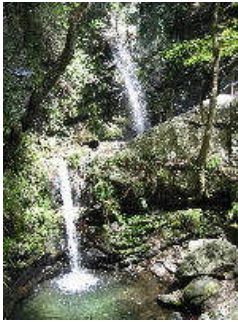
埼玉県入間郡越生町黒山



初代・栄円が山本坊を開き拠点としたところ。古くは将門宮と称した。神仏分離で熊野神社となった。

黒山三滝

埼玉県入間郡越生町黒山



聖護院直末・山本坊(修験の地方本山)の住職・相馬家(近年廃絶)は平将門の子孫と言われ、初代・栄円(13代後の後裔)は応永2年(1395)に越生の黒山三滝の上、大平山を修行の地としました。相馬家は、中世・近世に渡り大先達を世襲し、慶長8年(1603)に毛呂山町西土に本坊を移しました。山本坊の支配下は、入間、比企、秩父の3郡、越後国一円、常陸国6郡にも及び、霞下(配下の寺院)は180坊もありました。

薬師堂

埼玉県入間郡越生町黒山



本尊は熊野神社の本地仏だったという。

天覧山

飯能市飯能



天覧山 平将門が山頂に布陣した。

征矢町

飯能市征矢(そや)町



征矢神社

将門が放った矢が、ここに飛んできた。
矢風、矢の根弁天(川寺)、矢の目(川寺)にも同じ伝承。

立てかけ石

飯能市上直竹下分 将門が手綱を巻き付けた。

※将門の滝(白滝)

埼玉県秩父市(旧荒川村)

※千葉県立関宿城博物館

270-0201 千葉県野田市関宿三軒家 143-4



書店で買えない平将門に関する絶版になった本が販売されていた。また、平成15年度企画展図録「英雄・怨霊 平将門」～史実と伝説の系譜～(完売)のCD版(PDF)、定価500円が販売されるようになった。平将門に関して、あらゆる方向から記載されてある。内容も豊富です。500円は安い。是非お求め下さい。

他にも、面白い資料があります。常設展、企画展も力が入っています。

関宿(せきやど)は、近世から近代にかけて利根川水運の中継地として栄え、高瀬船や通運丸が往来して賑わいました。また、徳川家康の異父弟松平康元を藩祖とする関宿藩には幕府の要職にある譜代大名が配置されました。

関宿城博物館ホームページより抜粋
main@sekiyadohaku.com



CD版を買いに行ったのに月曜日は休館日だった。情けない。

後日また買いに行きました。

※常総市地域交流センター(元石下町・豊田城)



長塚節(たかし)の展示が豊富。
残念ながら平将門に関しては、ほんのわずかです。

反将門関係寺社


平将門調伏祈願の寺院神社など

※天慶の乱には有力寺院、神社は皆追討のご祈祷をしていたのでしょ。全部あげていたら、大変な数だろう。
※朝廷は全国の寺社に将門調伏の祈祷を命じ、その数340にのぼったという。
※関東は徳川幕府との関連で、真言宗智山派、豊山派の寺院が多いところ。同じ宗派内に将門側、貞盛・秀郷側とあるのは、仕方がないでしょうね。

成田山新勝寺 千葉県成田市成田



真言宗智山派の大本山

円泉寺にとっては敵のはずなのですが、何度かお参りに行っています(ただし、神田明神の方が参拝回数が多い。言い訳)。円泉寺の紅梅の幹を使い染めた和紙で、某かな書道の先生が書き、納めた大屏風が成田山にあります。ちなみに真言宗智山派(総本山智積院・京都市東山七条)の紋は、桔梗です。 

智



※別 智積院 真言宗智山派総本山

わかりづらいでしょうが、幕に桔梗紋が染められています。近年紅葉や桔梗の名所として知られるようになりました。長谷川等伯の国宝障壁画もすばらしいですよ。

鶏足寺

栃木県足利市小俣町2748

豊



真言宗の古刹。
室町の頃は大きな力を持っていた。

宇都宮二荒山神社

栃木県宇都宮市馬場通り1-1-1

当神社より授かった霊剣をもって将門を制した。

安房神社

栃木県小山市栗宮1615

田原藤太秀郷戦捷を祈願。

大三輪神社

栃木県栃木市惣社町477 下野國総社

秀郷が出陣に先立って戦勝祈願を行った神社。

平福寺・国香の墓
日月神社

茨城県石岡市国府5-9-8 常陸大掾氏一族の墓

茨城県古河市(元総和町)東牛谷915

秀郷が本陣を構え、大願成就してこの社を創建した。

櫻川磯辺稲村神社
二所神社

茨城県桜川市磯部779 平貞盛が将門追討祈願。

茨城県桜川市西小埜羽黒山(旧岩瀬) 八幡神社・羽黒神社と合併
八幡神社・羽黒神社は平貞盛の祈願所。天慶の乱の際に、平貞盛が弓矢と砂金を奉納して、大いに神の助けを賜ったと伝える。

愛宕神社
羽梨山神社

茨城県土浦市下高津 平貞盛が将門追討祈願。
茨城県笠間市上郷 3 1 6 1
平将門関東ニ兵ヲ挙グ 貞盛亦茲ニ祈リテ弓矢砂金ヲ納ム

貫前神社



群馬県富岡市一ノ宮 1535 上野国一之宮
本殿の裏手の「藤太杉」は、平将門討伐へ向かう藤原秀郷が戦勝祈願をして歳の数 36 本の杉を奉納した中の 1 本と伝えられている。

源護館跡 (富士神社あたり)

茨城県下妻市大串 東部中の西脇



富士神社と東部中学校

やきゅう
箭弓神社

355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2 丁目 5 - 1 4



我が母校の近く。数十年ぶりにお参りに行ったが、ずいぶんきれいになっていた。
野球選手がお参りに来る。

※東松山市は、ソフトテニスが盛んなところ。
焼き鳥でも有名。

息障院

355-0151 埼玉県比企郡吉見町御所 1 4 6

智



平安末、源範頼(吉見氏の祖)の屋敷跡
将門調伏の護摩を修した。

安楽寺

埼玉県比企郡吉見町御所 3 5 4

智



坂東札所

宝聖寺

埼玉県幸手市平須賀 2-458

豊



氷川神社

埼玉県さいたま市大宮区高鼻町一丁目 407 番地

平貞盛兄弟が鏑矢を奉りて戦勝を祈願したという。

若御子神社

埼玉県秩父市荒川上田野字栃久保 698

藤原秀郷が戦勝を祈願した。

竹寺（医王山八王寺）

埼玉県飯能市南 7 0 4 精進料理が有名です。要予約。

秀郷が将門征伐のため、加護を願って参拝した。



烏森神社

105-0004 東京都港区新橋 2 丁目 1 5 - 5



藤原秀郷が稲荷に戦勝を祈願し、お礼に一社を造営した。
真言宗智山派総本山智積院の別院『真福寺』が近くにあり、
何度か近くを歩いていた。

亀戸香取神社

136-0071 東京都江東区亀戸3丁目57-22

俵藤太秀郷はこの香取神社に参拝し戦勝を祈願した。



※別 亀戸天神社

36-0071 東京都江東区亀戸3丁目6-1

平将門とは関係ないが、亀戸香取神社からはすぐ近く。
三尺藤が三分咲きぐらいだったが、それでも見事だっ



浅間神社
下谷神社

東京都江戸川区上篠崎 1-22-31 平貞盛が、戦勝祈願。

東京都台東区東上野3丁目29番8号

田原藤太秀郷が参籠して将門追討の祈籠した。



黒船稲荷神社

東京都台東区寿 4-3-1

平貞盛・藤原秀郷が造営 天慶三年に創建

東京都豊島区西巢鴨 4-8-1

田原藤太秀郷が参籠して将門追討の祈籠した。

正法院



梶森神社

東京都中央区日本橋堀留町 1-10-2

田原藤太秀郷が平将門の討伐祈願をした。

日本橋七福神札所(恵比寿)



天

宝泉寺

169-0051 東京都新宿区西早稲田1丁目1-2

天



草創は931年、藤原秀郷。戦場において、秀郷が将門討伐を祈ると、毘沙門天が現じ、その姿を自ら作った像を祀るお堂があった。1501年、扇谷の上杉朝良が中興。

穴八幡宮

東京都新宿区西早稲田2-1-1



藤原秀郷が将門討伐を祈った場所として毘沙門堂を建立。

Wikipediaには、社伝によれば、1062年(康平5年)源義家が奥州からの凱旋の途中、この地に兜と太刀を納め、八幡神を祀ったという。

年代が合わない。宝泉寺のことと思われる。

二宮神社

東京都あきる野市二宮 2252



藤原秀郷が天慶(てんぎょう)の乱に際して、戦勝を祈願したと伝えられる。

境内にある二宮考古館(あきる野市施設)には、縄文土器や二宮神社の裏から発掘された薬師如来像などが展示されている。

※ここでも廃仏毀釈があったのだろう。

※別 大悲願寺

東京都あきる野市横沢 134

豊



重要文化財の伝阿弥陀三尊は毎年4月21・22日にご開帳される。
ご開帳 21日 11~15時・22日 13~15時 すばらしい仏様です。

伊達騒動で知られる歌舞伎の『伽羅先代萩』(めいぼく せんだいはぎ)の白萩は、伊達政宗の弟でこの第十五世住職秀雄より譲られた。正宗からの萩所望の書簡が残っている。

9月10~20日ごろが見頃だそうです。

東国花の寺百ヶ寺 牡丹もたくさん植えられています。

熱田神宮

456-0031 愛知県名古屋市中区熱田区神宮1丁目1-1

南宮大社

503-2124 岐阜県不破郡垂井町宮代1734

白髭神社

岐阜県可児市土田3662番地1

醍醐寺

平貞盛が、戦勝祈願。

京都府京都市伏見区醍醐伽藍町

将門調伏のさい、この寺の五大堂の本尊の所持する御剣に血が滲んでいて、折りしもこのとき、将門が滅亡したといわれている。

六孫王神社

京都府京都市南区壬生通八条角 源経基を祀る。

朝日神明社

大阪市此花区春日出中 1-6-21

平貞盛が平将門に討たれた父・国香の仇を討つため創建した。

平将門反勢力の関連地

源経基館跡

埼玉県鴻巣市 鴻巣高校の南西側に隣接。



六尊王「経基」の碑と館跡

経基は清和源氏の祖。天慶の乱が無ければ平家も源氏もただの地方武士のまま終わっていたのでしょ。

「鴻巣市城山ふるさとの森」になっている。

氷川八幡社

埼玉県鴻巣市^{みた}箕田(箕田源氏発祥の地)

源^{つこう}仕 → 宛^{あつる} → 綱^{つな}(源頼光の四天王・渡辺綱) 三代の屋敷跡が、ここの北側にあった。

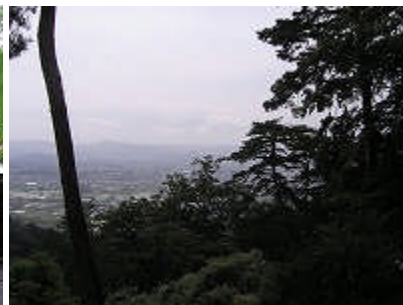
源宛は今昔物語で平良文との逸話が有名。綱は幼少にして両親を失い、従母の多田満仲の娘に引き取られ、摂津国渡辺の庄で養育され、渡辺姓を名乗るようになった。



唐澤山神社

栃木県佐野市富士町 1409

藤原秀郷の子孫、佐野氏城跡
藤原秀郷を祀る。



舟木一夫の奉納のぼりが何本も参道にあった。

ここより西 2km に藤原秀郷の墓所がある。

藤原秀郷の墓所

佐野市新吉水(唐澤山神社飛地境内) 田原八幡宮近く



吉水駅と道の駅「どまんなかたわら」の中間辺り。

寶珠寺・秀郷の墓

379-2215 群馬県伊勢崎市赤堀今井町1344-1

曹



開基 藤原秀郷
秀郷が平将門追討を祈願

秀郷の墓
供養塔は、秀郷の三男千國が
建立したと伝えられている。

高安寺・秀郷稲荷

東京都府中市片町2丁目4-1 伝藤原秀郷居館内



墓地の西奥

橋守神社(瀬田橋龍王宮秀郷社)

滋賀県大津市瀬田

瀬田の百足退治伝説の地。大神靈竜王・藤原秀郷を祀る。

鷹尾山蓮王寺
鵜森神社
俵藤太秀郷墓

939-0341 富山県射水市三ヶ高寺1597(小杉大仏) 俵藤太の墓
三重県四日市市 藤原秀郷を祀る
鳥取県東伯郡三朝町俵原

高野

明治以降に創建され、天御中主神を祀った神社

東京大神宮 102-0071

東京都千代田区富士見2丁目4-1 合祀



四柱神社 390-0874

長野県松本市大手3丁目3-20

北海道開拓村では、天御中主神を祀った例が多い。

釧路神社 088-2142 北海道釧路郡釧路町字遠野52 大正6年7月11日の創立。

空知沿岸交通神社 073-0034 北海道滝川市空知町3丁目118番地4

大上川神社 078-1744 北海道上川郡上川町北町25

サムハラ神社

大阪市西区立売堀 第一方面機動警ら隊の裏



日本の万年筆の創始者で、岡山県出身の田中富三郎氏が始めた教団。
今昔文字鏡(漢字検索ソフト)にも無い文字が使用されている。

面白い話

平将門と伊勢と齋宮女御一齋宮歴史博物館「齋宮百話」より

<http://www.pref.mie.jp/saiku/hp/hyakuwa/0097/hyakuwa-97-20080315.htm>

この将門の乱に関する祈願については、不思議な言い伝えが神宮に残されました。朝廷からの祈願の際に、多くの甲冑が奉納され、神宮から武装をした神々が海上を東に向かっていくのが見えた、というのです。

～ 略 ～

また、面白いのは、南伊勢地域に、今も民俗事例として将門に関わる意識が見られることです。旧多気郡・度会郡などを中心に、愛知県三河地方の一部から奈良県南部の一部まで、家の門口に年中注連縄を掛けるという風習があります。そこに付ける木札には多くは「蘇民将来子孫門」と書きます。これは牛頭天王（祇園の神）の信仰に関わる、陰陽道の疫病除けの信仰なのですが、松阪・明和町地域などでは「笑門」と書く例が見られるのです。笑門来福の意味かと思ったら、地元では、「将門」と略すと平将門と同じになるので「笑」に変えているのだと伝えられている、というのです。近世頃の新しい解釈なのかもしれませんが、こんな所にも将門がいました。



「蘇民将来子孫門」



「笑門」

内宮近くのお店のしめ縄
いろいろな種類がある。



「千客萬来」



「陽光子門」



内宮の行事

妙見菩薩メモ

妙見シリーズ8 日本石仏協会談話室用資料(妙見様の基本資料)よりの抜粋

まとまりがありません。ご了解ください。

①紀元前数千年前、元々は現在のイラクやイランに栄えた古代アッシリアやバビロニアの砂漠の遊牧民が方角を確認するために北極星を神として信仰し、遊牧民を経て、中国に伝わりました。

中国においても、北辰信仰は、紀元前二千数百年前の堯・舜(伝説の王の名・夏の前)の時代に記録されているという。北極星の信仰が古代中国に伝わり、道教などの星信仰と習合していきます。

北極星は、道教においては、天帝太一神の居所であり、北辰を北極大帝、北極紫微大帝、玄武大帝もしくは北極玄天上帝などと称し、最高神である玉皇大帝の命をうけて星や自然界をつかさどり、天界、人界、冥界の三界を総宰する神格とされるようになりました。

②仏教では「七仏八菩薩諸説陀羅尼神呪経(妙見神呪経)」として組み込まれました(正倉院の写経請本帳(736年)にこの経もみえる)。「妙見」とは仏典を根拠とする言葉です。

妙見菩薩とは、北極星、北斗七星を神格化した仏様のことです。菩薩とありますが、天部の仏様です。

妙見菩薩御真言 オン ソチリシュタ ソワカ その他 種子 **ソ**

③玄武は中国の四神(青竜、朱雀、白虎、玄武)のひとつで、北方の守護神といわれ、五行説で北は水に属します。宋(960～1279)の時代(1014年)には諱避(いひ)のために真武と名を変えました。

「宋真宗大中祥符七年(1014年)加封為避聖保德真君 後為避聖祖趙玄朗之諱 改玄武為真武」

真武大帝(しんぶたいてい) Chinese mythology ホームページより。

四聖獣のひとつ玄武(げんぶ)の神としての姿。真武神、裕聖真君、玄天上帝など別名を多く持つ。黒の衣をまとい、七星剣を持ち、亀と蛇を踏む姿で表される。北方を守護し、水神、武神でもあり、北斗七星とも関係が深い。特にこの神は南方での人気が高く、ベトナムや台湾では最高神の扱いをうけているという。「北遊記」(注:東西南北の物語が作られ、特に西遊記が有名)では主人公として活躍する。 藤山

※羽林 北辰(北極星)を守護する星の名

イ、天子を守る兵。近衛隊(キエタイ)。漢の武帝のときから置かれた。「羽林郎」「羽林騎」「羽騎」ともいう。

ロ、《日本語での特別な意味》近衛府(コノエ)の唐名。

※玄=色では黒を表す。(※玄は、げん、くらい、くろ、くろいと読む)

④天皇大帝(てんおうだいてい)ともいわれ、日本の天皇号も宇宙最高神の権威の象徴として成立しました。

⑤七世紀に高句麗、百済などの渡来人により伝わったようです。最初は渡来人の多い関西以西の信仰だったようですが、天智天皇以降に渡来人を強制的に関東に移住させたために関東に妙見信仰が伝わりました。

⑥妙見様は、北斗七星の第七番目の星が、破軍星と言われたために武門に信仰され、山口市の大内氏は氷上山興隆寺を厚く敬いました。

特に桓武平氏の千葉氏系は妙見信仰で強い絆を持ち、鎌倉幕府設立には大きな力になりました。一族は日本各地に広がり、各地に妙見菩薩を勧請しました。現在も千葉神社を中心に千葉県内には妙見菩薩を祀る約400の寺社があるようです。福島県の野馬追いで知られる妙見三社などがよく知られています。

他に、秩父氏では埼玉県の秩父神社が知られています。

⑦鎌倉末期天台教学と融合した山王信仰が説かれた。山王七社は北斗七星でもあり、庚甲・北斗・山王信仰との関係が密接です。

⑧江戸時代には、妙見信仰が日蓮宗に広がり、特に大阪府豊能郡能勢町の能勢妙見が有名です。京都では昭和61年に日蓮宗を中心に洛陽十二支妙見が再興されました。

⑨北辰鎮宅霊符神として祀られているところもあります。

⑩地域によっては水神、鉾物神・馬の神としても信仰されたました。隠れキリシタンは妙見を天帝として祀ったこともあったようです。

水神として祀っている地区(高知県・熊本県など)。水天を妙見と取り違えて祀ってあるところもあるようですが、どこかは分かりません。摩耗したら判断がつかないでしょう。

※水天のお姿を彫った石仏 東京3基 群馬1基 富山2基

⑪めうけん(妙見)は きたのきたにぞおはします

衆生ねがひを満てんとて 空にはほしとぞみえたまふ 「梁塵秘抄」

⑫自治体単位で現在調べたところもっとも多いのは、広島県福山市の32ヶ所。

⑬妙見山(山号)、妙見寺とあっても、現在は祀られていないところもある。

⑭有名な所 千葉神社(千葉氏) 能勢妙見(兵庫県) 八代神社(熊本県) 秩父神社(埼玉県)

足立山妙見宮御祖神社(北九州市) 相馬野馬追(福島県、相馬中村神社・太田神社・相馬小高神社)

⑮妙見菩薩の本地仏は十一面観音(真言宗)、七仏薬師(天台宗)とされている。

⑯伊勢の天台宗常明寺にて日蓮上人の前に妙見菩薩が示現したという話しは、本化別頭高祖伝(1720年)にある。

⑰亀の中国思想史(永谷 恵 氏)が面白い。 <http://mayanagi.hum.ibaraki.ac.jp/students/04/nagatani.html>

⑱「阿婆縛抄」第六の「妙見」に「帖に云わく。北辰は妙見なり。又尊星王と云う是なり」とある。

⑲『山書月報』の谷有二氏の解説に「地中の埋蔵鉱物は、空の星が降って地の中で育つと信じられた時代があった。そこで北極星、つまり妙見が鉱山師の信仰を受けようになっただけで、その妙見を祀る山が、妙見山である」という。

※石見銀山(世界遺産)は 延慶2年(1309)周防国守大内弘幸が日頃信心する妙見神のお告げにより銀山を発見した。

①「玄天上帝の変容」 二階堂善弘 <http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~nikaido/xuandi.html> は中国における信仰の重要な資料です。他に <http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~nikaido/essay1007.html> も参照して下さい。

廃仏毀釈・神仏分離の影響

①古事記、日本書紀にただの一度だけ記されている神である天御中主神あめのみなかぬしのかみは、道教の天帝の思想を取り入れた神とされているようだ。 天の真ん中の神(北極星)。

②明治維新において、平田篤胤の国学の影響は大きく(彼の国粹主義思想だけがとくにとりあげられ、明治政府の国家神道をささえる思想的柱となった。先祖は平将門とし、篤胤が祀ったの将門像は神田明神にある。)、廃仏毀釈の嵐は想像を絶するものであったようだ。神仏分離の布告(明治3年・1870)により、多くの寺院が破壊されたり神社に変えさせられた。神社の仏像仏具は破棄されるか、ひっそり祀られていたり、近くの寺院に納められた。修験や普化宗(虚無僧)は廃止させられた。



伊勢神道では妙見菩薩(みょうけんぼさつ)を天御中主神に配当し、渡会(わたらい)家の氏寺である伊勢の常明寺の境外仏堂に祀っていた。(現在はよみうりランドの妙見堂に祀られている。東京都稲城市矢野口)

天御中主神(あめのみなかぬしのかみ)を

本居宣長(1730-1801) 天の真ん中の坐々して世の中の宇斯(うし・家のような?)たる神

平田篤胤(1776-1843) 天地万物の主宰神、北斗七星の神

としてとらえた。復古神道においては天御中主神は最高位に位置づけられている。明治に大教院が祭神と規定し、妙見菩薩は、天御中主神などとして祀られた。妙見堂は、地元の名を冠した神社や星宮神社などと呼ばれるようななったり合祀された。福島県の相馬藩内では、初発(はじめ)神社と改名された。

※神社本庁の史料によると「実際に古くから神社の祭神として祀られていた形跡は延喜式神名帳等の神社史研究において存在しない」つまり、天御中主神を祭る神社に式内社は無いと断定している。

日光院ホームページより <http://www.fureai-net.tv/myoukensan/>
延喜式神名帳は、延長5年(927年)にまとめられた。

※星宮ほしみやは古くからあるが道教の星宮(せいきゅう)も関係しているのではないだろうか。(例・永楽宮壁画)
「勾陳、即勾陳星宮天皇大帝、也稱紫微天皇大帝、是後世用以代表(赤極)的-顆星、居北極前隅、…」

③埼玉県山西省友好記念館「神怡館」(しんいかん)に永楽宮壁画の模写があります。入れ替えがありますので確認を取ってください。仏宮寺釈迦塔縮小建築模型など、すごい展示品ばかりです。いつもすいています。

埼玉県秩父郡小鹿野町薄 2245 TEL: 0494-79-1493 休館・火曜日
<http://www18.ocn.ne.jp/~ogano/shenyi.html>

福岡県久留米市の水天宮は、廃仏毀釈後に水天から天御中主神に代えられた。祭神として現在水天としては祀られていない。ここより全国に勧請された水天宮も同様である。

また、天御中主を祀る神社では、妙見菩薩とまったく関連がない神社〔例:日野市の日野宮神社(日野宮権現:本地仏・虚空蔵菩薩)〕も多い。元の祭神・本尊がわからなくなっている場合もある。なかには創建当時から天御中主神を祭神として祀ったように記載している神社がある。天御中主神を祀ったのは、廃仏毀釈以降がほとんどのはずで、それ以前に祀ったところがどれだけあったのだろうか。妙見菩薩との関係を意識的に隠している神社もある。

③星宮神社は栃木県が一番多いようだが(祭神は天御中主神・いわさく・ねさく など)、日光修験の関係で元は虚空蔵菩薩です。水戸学の影響が色濃く残ったところに星宮神社が多くあるようです(栃木県神社庁 HP の質問に対する答えの一部)。

※ウナギが虚空蔵菩薩の使いとして、氏子や信者は食べないという習慣が残っているところが多い。

妙見菩薩の御利益

妙見菩薩の利益は目が美しく澄み切っていて物事の真相を見極める力を持っているとされ、国土を守り災厄を防ぐとともに目の病にも効験があるとされます。他に天下太平、海上安全、立身出世、財宝充満、家業繁盛、子孫安泰、災難退散、方位除、厄除、安産守護、悪病平癒(特に目の病)、五穀豊穰、などがあります。

北斗七星の内、破軍星があることから軍神として信仰があった。乳の出の良くなる祈願の信仰もある。

円泉寺では、養蚕の神としても信仰された。しかし当時を知る人は少ない。秩父神社も養蚕者の信仰が深かった。

妙見菩薩の姿・形

イ、妙見様のお姿は、日本の美術『妙見菩薩と星曼荼羅』林温著によると、古代には妙見菩薩像と吉祥天像は、ほぼ同じお姿だったようです。現在に残されている古い時代の吉祥天は妙見菩薩の可能性があるようです。

ロ、日本の美術『中世の童子形』津田徹英著が童子形の妙見菩薩の成り立ちについて詳しい。

ハ、童子形は、「髪が長い」「袍(ほう)の下に胸甲を着ている。あるいは胸甲のみ。」「剣(七星剣)を持つ(持たない像もある)」「亀に乗る(乗らない場合もある)」とした特色があります。

日蓮宗系の菩薩像(能勢形)、驚妙見(お酉様)、また、密教系、北辰霊符神もあります。

東京文化財研究所美術部のオープンレクチャー「中世における中国道教神の受容をめぐる」

より

平成17年11月5日 講師・津田徹英先生

<http://www.tobunken.go.jp/~bijutsu/katsudou/openlecture/39open.html>

真武の日本における妙見菩薩としての受容の講演は、先生の著作・日本の美術『中世の童子形』の中の妙見菩薩の例をさらに詳細に論じたもので、有意義なものでした。平安期までと鎌倉以降の妙見菩薩像の像容がまったく異なっているのは、中国において11世紀頃から道教神である玄武が亀と蛇が絡み合った姿が徐々に擬人化して玄武神(真武)となり、中世に千葉氏など有力氏族や寺院などが直接中国と交易をし文物が直に日本に伝わって来るなかで、妙見菩薩として信仰され日本的な変容があったことと説明がありました。さらに日本においては中国と異なりは童子の姿での像容であることが大きく異なることでした。

※注 真武神の特色である男子の^{ひはっ}被髪は、人では罪人・“特別な能力のある男性”を表しています。古は日本や朝鮮においても男性は普段はかぶり物をしており、髪を毛を直に見せるのは恥とされていたようです。髪をほどいた姿で人前にさらされるのは、罪人としてでした。テレビや映画で罪人が髪をほどかれていたのを見た人も多いと思います。

※注 日本においても髪を伸ばしたままの大人の男子は八瀬童子・牛飼童(童子姿の牛車を引く従者)^{うしかいわらべ}・根来^{ねごろ}の行人(根来の僧兵とは言わない)などが知られています。大人でありながら子供の姿・髪を伸ばした特別の存在の人が、まれにいたわけです。神像として髪を伸ばした姿をしているのが全て女神だとは限りません。

※次の朴亨國先生(武蔵野美術大学助教授)の「韓国と日本の女神像の初期図像」の講演によると、韓国においては女神像は無いと言われていたそうです。慶州市の南山に従来いわれてきた仏坐像が唯一女神像ではないかとの見解を示しています。ここから日本の初期女神像に影響があったのではないかと推測しています。

※注 あるいは、渡来人が朝鮮半島を経てもたらした神像は、すべて男神像だったのかもしれませんが。

『 独立行政法 人文化財研究所 東京文化財研究所 』 〒 110-8713 東京都台東区上野公園 13-43.
TEL 03-3823-2241 URL : <http://www.tobunken.go.jp/>

※年一回のオープンレクチャーは、秋に行われます。とても有意義な講座です。どなたでも受講できます。要予約。



- | | |
|----------|--------------------------|
| 妙見シリーズ 1 | 関東の妙見菩薩 埼玉・東京・群馬 |
| 妙見シリーズ 2 | 関東の妙見菩薩 千葉・茨城・栃木・神奈川 |
| 妙見シリーズ 3 | 北海道・東北の妙見菩薩 付・妙見などの地名・山名 |
| 妙見シリーズ 4 | 中部・北陸地方の妙見菩薩 付・摩多羅神 摩多利神 |
| 妙見シリーズ 5 | 近畿地方の妙見菩薩 |
| 妙見シリーズ 6 | 中国・四国・九州の妙見菩薩 |
| 妙見シリーズ 7 | 別冊 妙見菩薩 平将門関連 |
| 妙見シリーズ 8 | 日本石仏協会談話室用資料(妙見様の基本資料) |

円泉寺ホームページ <http://www.ensenji.or.jp/>
妙見菩薩関連 <http://www.ensenji.or.jp/myouken.html>